

一人で論文を書かない方法

石原 進（静岡大学）

ネットワークグループ主査

査読や編集をしていると、

「この論文、本当に指導教員や共著者が読んだの？」

と思うものがあります。

実際は、共著者の手直しが追いつかず、
精一杯でその状態というケースもありますが…。

論文は一人だけで 仕上げる必要はない

- あなたの指導教員や上司は、名前だけで共著になっているのではない。**
 - 卒論や修論、博論も、一人で書いたものではない。**
- みんなの協力があってこそ書けている**

あなたの論文に関わる人たち

- **共著者（学生，同僚，上司，ボス）**
- **著者以外の協力者**
 - 学生，同僚，上司，友達，英文校正業者，学会等で質問してくれた方々
- **査読者，編集者**
- **巨人たち：世界中の文献の著者たち**
巨人の肩の上に立つ

協力してもらおうこと

- **書き始める以前のディスカッション**
- **「書き方」に関するアドバイス**
- **「書いたもの」に関するアドバイス**
 - 出来るだけ早く！
 - 方向修正は早い方が良い
- **とにかく読んでもらう**
- **著者グループでは読み過ぎてしまって見落とすようなミスを見つけてもらう**

学生さんの気持ち

- **「実は自分は先生の手書きの赤入れを
タイピングするだけの要員なのではないか？」**
 - 実際、教員は自分で書いた方が早いと思っています。
TwitterやFBにそういうつぶやきが流出しています。
- **…誰もが通る道、気にしない。
そのうち身になる。**

写経ノススメ

- **写経**

- 経典, ソースコード

- 論文

- **偉大な論文の書き方のテクニック, 考え方がわかる!**

- **昔はベーマガのソースコードを手打ちするのが重要な修行でした。**